

特集

鴻巣市を「戻りたいまち」「暮らし続けたいまち」に

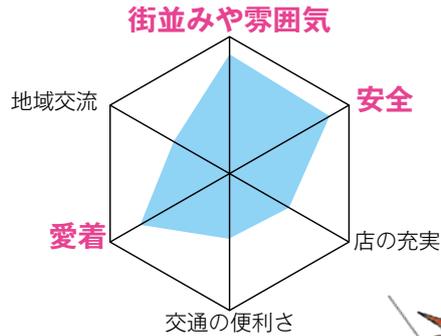
鴻巣市が注目されています

みんなで作る地域応援サイト「生活ガイド.com」(株式会社ウエイブダッシュ)が行った「全国戻りたい街ランキング2021」において鴻巣市が全国18位、県内1位となりました。また、同サイトの2021年11月の地域注目度ランキングでは、全国1位となりました！

「データで見るあなたの街」の各ランキングはサイトに登録する会員の声によるものです。

鴻巣市で生まれ育ち、今は違うまちに住んでいる方の多くが、ふるさと鴻巣に「魅力や住み良さ」を感じていると考えられます。

● 住民意識チャート ●



住民意識チャートでは、景観の美しさや緑豊かな自然に恵まれていると感じる「街並みや雰囲気」、治安の良さや災害への強さを示す「安全」、まちへの「愛着」の3項目で高い評価となっています。

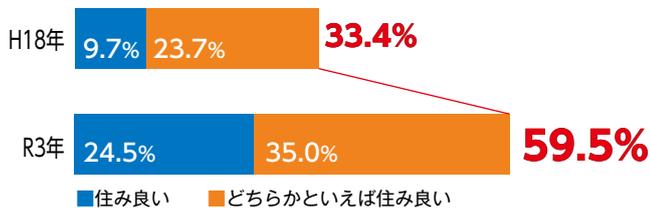


出典:生活ガイド.com

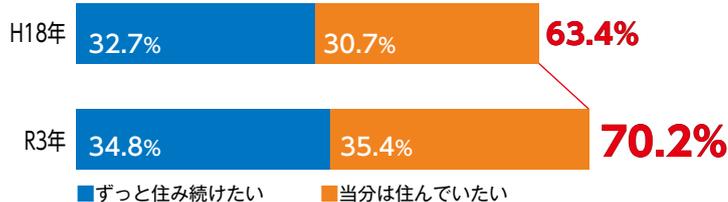


毎年4月～5月にかけて実施する「まちづくり市民アンケート」では、市民の「住み良さ」「定住意欲」が高まっています！

現在の鴻巣市は住み良いまちであると思いますか



これからも鴻巣市に住み続けたいと思いますか



市民アンケートで寄せられた意見を一部紹介します

あまり都市化にこだわらず、自然とのバランスの取れたまちづくりを望みます。(30歳代・男性)

とても住みやすく、鴻巣に住んでいることを誇りに思います。自然・緑・花・生き物を大切にするまちに。(30歳代・女性)

安全・安心を基盤として、魅力あるまちづくりを進めてください。(20歳未満・男性)

市外で働いていますが、鴻巣市の方が自然豊かで花がとてもきれい。美しい花のあふれる市をこれからも創っていきたい。(40歳代・女性)

同じ年代の人が、気軽に集まり話せる場がほしい。(30歳代・男性)

若い人も年配の人も安心して住めるまちづくりをしてほしい。(70歳以上・女性)

# 7年連続で転入者数が転出者数を超えています

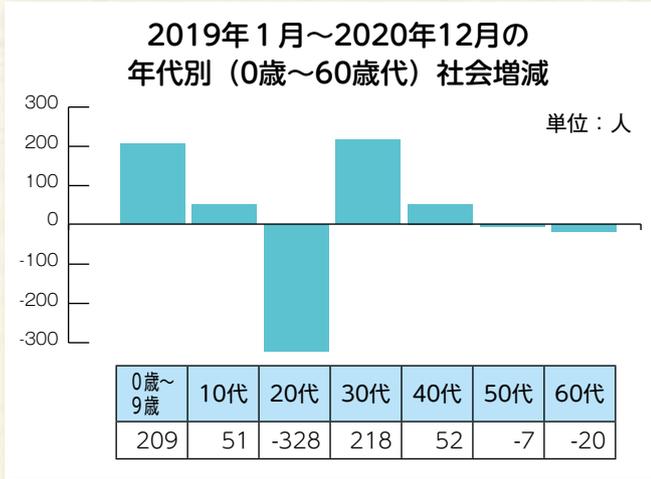
転入者数・転出者数の推移

単位：人

市内への転入者数が市外への転出者数を上回る状態が続いています。転入超過傾向にあるのは、30～40歳代とその子どもたちです。

2014～2019：埼玉県統計年鑑  
2020～2021：住民基本台帳

	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
転入者数	4,039	4,571	4,323	4,462	4,507	4,451	4,030	4,332
転出者数	4,239	4,337	4,152	4,185	4,376	4,278	3,951	4,022
増減	▲200	234	171	277	131	173	79	310



子育て世代が増えている一方で、20歳代の転出が多いのね。

20歳代に多い転出理由は進学や就職、結婚などです。だから、結婚や出産、子育てのタイミングで鴻巣市に“戻りたい”と思ってもらえるよう、ふるさと鴻巣を好きになってもらうことが重要です。



## 安心子育て！パパママクラス

12月25日に吹上保健センターで行われた「パパ・ママクラス」取材  
パートナーのサポートの重要性や助産師による沐浴指導など、6組の参加者が熱心に受講していました。



保健師の講義を聞く参加者



人形を使った沐浴指導を受ける参加者



## パパ・ママクラスの参加者アンケート “鴻巣市の印象は？”

●パパ・ママの生まれ育ったまちは？

両方が鴻巣市	0組
どちらかが鴻巣市	3組
鴻巣市外(近隣市等)	0組
車や電車で1時間以上離れたまち	3組

●将来、定住地を決めるポイントは？

生まれ育ったまち	0組
通勤の便利さ	1組
住宅の価格	0組
子育て・教育環境	3組
まだわからない	2組

●鴻巣の住み良さは10点満点で何点？

6点	1組
7点	3組
8点	1組
9点	1組

鴻巣市のいいところ、不満なところについて、意見をいただきました！



- 子育て支援が充実している
- 交通の便がいい／都内(仕事)に出やすい
- 自然が多くて、ゆっくり暮らせる感じがいい
- なんでもあって住みやすい



- 北鴻巣駅前が少しさみしい  
(イルミネーションやお花はきれい)
- 歩道がせまいところが多い
- ごみの分別が以前住んでいたまちよりも面倒



子育て前の方も、子育てを卒業した方も、ぜひ知ってほしい！

## 質・量ともに充実した出産・子育てサービス！

### 結婚や妊娠の希望をサポート！

- SAITAMA出会いサポートセンター（恋たま）利用登録料が割引（2年間16,000円→11,000円）
- 対象の新婚夫婦に対し、住宅の取得・賃貸・引越に係る費用を最大60万円補助
- 早期不妊検査費・不育症検査費の助成金として最大25,000円を支給
- 婚姻届を提出したカップルに、花の引換券をプレゼント

### 安心して出産できる環境が整っています！

- 妊婦健康診査・新生児聴覚検査に利用できる助成券を支給
- パパママクラス・オンラインマタニティクラスなど、妊娠中の生活や出産、育児に係る情報交換やお友達づくりをサポート
- 妊娠中の方の安全な移動をサポート
  - ・ デマンド交通「ひなちゃんタクシー」は陣痛のときにも利用可能
  - ・ 「こうのす乗合タクシー」は1回300円
  - ・ コミュニティバス「フラワー号」は無料
- 出産祝金として、第1子・第2子のときは2万円、第3子以降には5万円分の商品券をプレゼント

### 赤ちゃんとお母さん（お父さん）の健康をサポート！

- 新生児訪問（生後1～2か月）、こんにちは赤ちゃん訪問（生後3～4か月）、産後ケアで母子の健康をトータルケア
- 18歳までの子ども医療費が無料（県内で18歳までの医療費が無料なのは26市町村／63市町村）

### 伸び伸びと子育てができる環境が整っています！

- 保育所・認定こども園・地域型保育施設・幼稚園が充実
- 鴻巣駅前に保育ステーションを設置。専用バスでお子さんを保育所に送迎
- 病児・病後児保育も可能。子どもが保育所で具合が悪くなったときは看護師・保育士がタクシーで迎えに行き、病児保育室で預かります
- 幼稚園・保育施設の園児による花育活動を展開
- 保育所園庭・小学校校庭の芝生化を実施
- 子どもの数に対する児童センター整備率は県内No.1
- 放課後児童クラブは全小学校をカバー

※令和4年1月現在の事業内容



▲保育所園庭の芝生化



▲小学校の授業風景

## 鴻巣市の魅力はほかにも！

### 安全・安心なまちがGOOD

地震や台風などの自然災害に強いほか、鴻巣市は近隣自治体に比べて、犯罪率も低くなっています。

自治体名	2020年の人口1,000人あたりの犯罪率
鴻巣市	5.0
さいたま市大宮区	13.0
羽生市	8.0
熊谷市	6.1
久喜市	6.1
上尾市	5.8
行田市	5.7
北本市	5.4
桶川市	5.1
埼玉県平均	6.1

県内40市のうち犯罪率が9番目に低い！治安もいいまちです

### 市民の皆さんが活躍!!

豊かな自然ときれいな街並みは、地域の人の協力があってこそ



鴻巣駅周辺などを花で装飾しています（花のボランティア「フラワーフレンズ」）



元荒川の清掃活動をしています

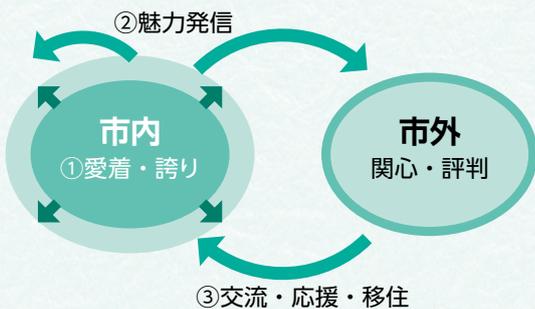
「戻りたいまち」「暮らし続けたいまち」になるために

## シティプロモーション推進方針を策定中

鴻巣市では、市民や有識者の方の参加により、シティプロモーション推進方針の策定を進めています。

シティプロモーションを“広報・PR”のための手法にのみ用いるのではなく、①地域に愛着・誇りを持つ市民の皆さんが当事者となって主体的にまちづくりに関わり、②地域の魅力を発信することで、③共感や応援、交流を得ながら、地域への愛着や誇りを全体的に高めることを目的とした「まちの活性化の仕組み」として推進していきます。

### シティプロモーションの仕組み



### シティプロモーションの基本方針

地元への愛着と誇りを育む **シビックプライドの醸成** × 市外への魅力発信 **シティセールスの実践**

#### この仕組みに必要な3つのチカラ

- **多様な主体による推進力**  
市民が主体的にまちづくりに参加することで、地域への愛着やまちづくりの当事者としての誇り（自負心）が高まります
- **個性的な地域の魅力**  
地域の個性を市民が認知することで、全体として目指すべきまちづくりの方向性が共有でき、魅力の磨き上げ（まちのブランド化）を促します
- **時代に合った最適な発信力**  
スマートフォンやSNSの普及による、多様な情報が溢れるなか、誰もが情報発信の担い手であることを認識し、共感や交流、応援を生み出す最適な発信が重要になっています



推進方針の策定にあたり、有識者10人、公募市民4人、アドバイザー1人の15人で懇話会を開催